

Title	無心とスピリチュアリティ：日本的なスピリチュアルケアのために実施結果：アンケート集計結果の概要(2012年度聖学院大学総合研究所カウンセリング研究センター講演会：総合研究所 News)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.1, 2012.9：41-44
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3995
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

【プログラム】

講 演

西平 直

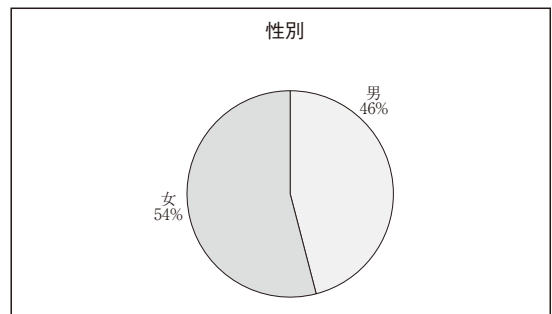
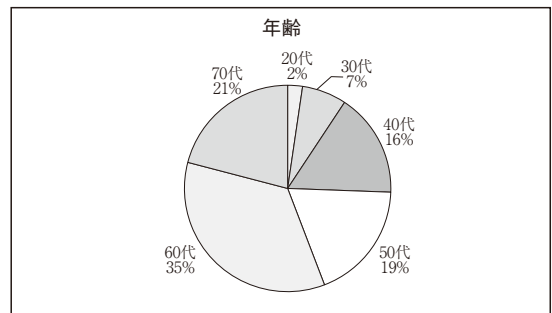
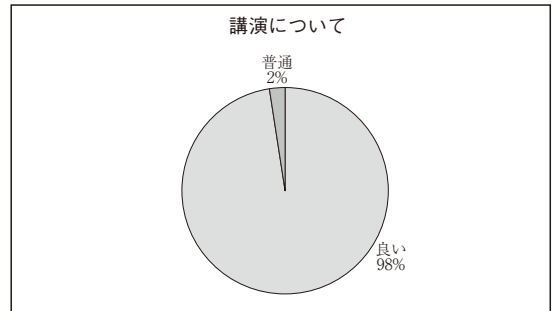
(京都大学大学院 教育学研究科 教授)

司 会

窪寺 俊之 (聖学院大学大学院 教授)

【結果の概要】

- ・参加者は68名。内、アンケート回答者は44名。
- ・講演について、「良い」が98%と大半を占めた。
- ・自由意見では、「とてもよかった」「勉強になった」「充実した内容」「次回もまた聞きたい」「更に考える契機となった」など。



2012 年度 聖学院大学総合研究所カウンセリング
研究センター講演会
無心とスピリチュアリティ
—日本的なスピリチュアルケアのために
実施結果—アンケート集計結果の概要—

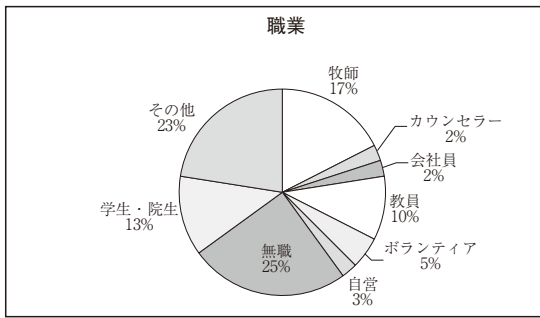
場 所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室

日 時 2012年5月18日(金) 14:00~16:30
(開場13:30)

欧米でスピリチュアルケアの必要性が議論され始めてすでに半世紀。日本でもホスピスが始まって四半世紀です。今回は日本の「無」の思想をスピリチュアルな視点から読み直しておられる京都大学の西平直先生を御招きし、「日本人の魂に触れるケア」の在り方を考えてみたいと思います。

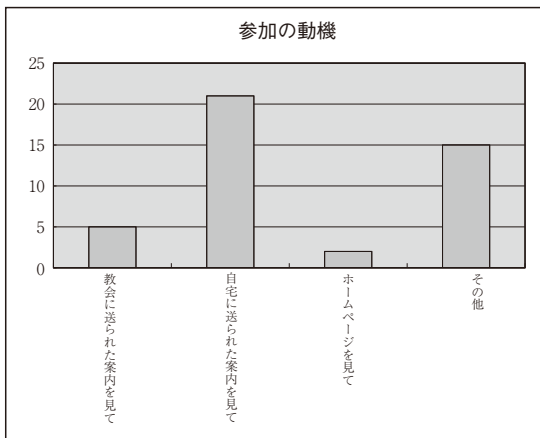
* 回答者の年齢は、60代が最も多く35%、次に70代21%、50代19%となった。

性別は女性54%、男性46%とほぼ半々となった。



*職業別には、「牧師」が17%、次に「学生・院生」が13%。

「その他」として、「ホームヘルパー」「医師」など。



*参加の動機は、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「教会に送られた案内をみて」「その他」の内容は、「講師の知人」「友人に誘われて」「勤務先に送られた案内を見て」など。

リクエスト

- ・木村 敏。
- ・スピリチュアルケアとバーンアウトについて。
- ・さらに深めてお聞きしたい。
- ・秦 恒平。
- ・また、西平 直先生。

自由意見

- ・揺れながら、かつ、しっかり生きるということ。他者との間で人や、キリスト自身が揺れながら我々のところまで歩んできたのだと思った。それが我々にとってのリアリティ。
- ・時々質問を用紙に記入するのではなく、直接、

応答もよろしいのでは…とっておりました。本日はとてもよかったです。ありがとうございました。

- ・説明が具体的でわかりやすかった。ご本人の意見と引用の区別が明確で、先生の考え方がよくわかりました。誠実さが伝わりました。
- ・埼玉県でこのような講演が聞けるのが大変ありがたく、うれしい。最後の質問された中で、私もおまじないしてから、決断（手術する、しない、抗がん剤治療する、しないとか）したいです。
- ・率直にいった難しい。しかし、見方によっては含蓄がある講義でした。でも、頭が混乱していくようです。
- ・日頃、考えていることを更に深く考える契機になりました。瞑想のときを多くもち、自立の成り立ちをよく観察しながら、自分と向き合いたいと思う。
- ・興味深い話題でした。日本的な伝統に基づいたスピリチュアルケアと考えられているところが、共感しました。
- ・とてもよかったです。時間が過ぎていくのが残念に思いました。2時間半以上続けるのも限界でしょうが、このテーマはまだまだ聞きたいと感じます。
- ・本日は大変興味深く聴かせていただきました。私は友人（境界性人格障害）との関係で、正に本日の内容を強く考えさせられるような「三段階」を体験しました。第二段階まさに苦悩の日々で精神的、肉体的DVもありました。10年近くの時間を友人と苦しみ合い、現在第三段階に入ってきているように思われます。「無心」は人間関係を深く、高めてもくれるものと実感しています。ありがとうございました。
- ・楽器（ピアノ）を演奏するので、先生のおっしゃる無心については非常によく理解でき、またそれと創造性や即興性に結びつくというのも深く納得します。無心の状態で「何かが顕現する」ということもよくわかりました。さらに突っ込んでお聞きしたいのは、「対人」において無心になる、相手と一体になるとのことです。深く共感し、寄りそいつつ目覚めた状態で対話



なり心身のふれあいを進めていく、という感じはよくわかりますが、何か具体的な例、または禅の記述、エピソードがあれば2、3、お聞かせ下さい。

- ・今回のテーマは「物理学」の世界の方々に理解されやすいとの事ですので、「物理」を専門にした、しかも「教育系に携わっているどなたか」をゲストに、再度レクチャーしていただくと、本日との視座の違いを楽しめるように思います。
- ・西平先生のお人柄がにじみ出た丁寧で心あたたまる、気持ちのよい講演に出席できて大変うれしく思います。
- ・自らの信仰のあるべき姿をどう求めていくのか？という人生のテーマを強く意識しながら、「スピリチュアルケア」という業に関わりたいと思いながらも「無心」という境地がどういふものか？ということに無自覚であってはならないというような受け止めをさせていただきました。感謝です。
- ・難解な仏教思想を大変分かりやすく説明してくださり、実際の場面で応用していけるような気がしました。ありがとうございました。
- ・私は宗教とは関係ないまま…多くの日本人が信仰というものを自覚的に考えないままですが…、死を受け入れてゆく場面に立つことの多い仕事についておりました。日本人は死をどのように受け入れていったか、日本人の死生観について関心を持っています。自覚的な…西欧のクリスチャンのように「天国」「永遠の神の愛を信じ」という明確なものがないといわれています。

しかし、仏教徒という自覚は薄いけれど、それを基本に神道なども混ざり合った独特のスピリチュアリティ。と思っています。かつ、それが無意識的なものであるか、極めて深いものを受け継いでいると思っています。大震災で人々が次々と肉親の死を語る姿を世界の人々が驚き、讚えておりましたが、日本人がもっている品格でもあろうとわたしは思います。

とても面白く聞かせていただきました。わかりにくい、哲学のお話…いわゆる禅問答をわかりやすく聞かせていただきありがとうございました。

- ・講演会でお祈りが捧げられること、講演の中で聖書の御言葉が読まれることを期待していましたが、それらがなくて残念でした。禅の講義のような感じでした。
- ・ご自身の体験、学生さんの反応のお話、カウンセラーの方の体験談など具体例が織り交ぜられるので、非常に理解の助けになり、わかりやすかったです。印象深かったこと、感銘を受けたこと、じっくり整理したいと思います。ありがとうございました。
- ・「日本のスピリチュアルケアは無心を経由している」そんなふうになったら本当に素晴らしいですね。私自身は日常生活の中ですこしずつでも「いつでも0ポイントに立ち戻れるように、いつでも0ポイントからはじめられるように」＝「無心」を大切にしながら、そのようになれるように日々、精進していけたらと深く思いました。今日は、西平先生の心豊かで素敵な、分



講演者の京都大学大学院教育研究科教授西平直先生



かりやすい講演会に参加させていただいて本当によかったです。ありがとうございました。お疲れ様でした。

- ・とてもわかりやすく心に響くお話でした。学者でいらっしゃるのに、生身の人間としてのあり方に触れてくださり、私たちの目線で解説してくださいました。ありがとうございました。
- ・質問タイムに、真剣に丁寧にお答えくださり、講義と共にその内容がとても有意義でした。
- ・質疑応答が興味深いものもありますが、そうでないものもありました。
- ・とても充実した内容でした。運営もスムーズで素晴らしいと思いました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・次回の講演会にも、ぜひお声がけください。
- ・自分の日常を見直し、正しくするために役立ちます。
- ・ありがとうございました。
- ・本当によい話でした。